

◎清掃一般の経費

清掃一般運営事業 【 環境政策課・資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち  
生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

- (1) 一般廃棄物処理施設建設基金積立金
  - ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるため基金積立事業を行った。
- (2) 清掃運営事務
  - ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。
- (3) 清掃一般運営事業
  - ・新たな委員構成による生活環境整備審議会を開催し、バイオマスや最新の焼却施設についてご意見をいただくとともに、本市の一般廃棄物処理施設の再編整備のあり方について諮問を行った。
  - ・廃棄物減量化等推進員を対象に、年4回会合を開催するとともに、新任推進員に対する研修として廃棄物関係施設見学を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,711	26,057	24,891		1,166
主な支出内訳				
・ 一般廃棄物処理施設建設基金積立金				
一般廃棄物処理施設建設基金積立金				20,000
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金				696
一般廃棄物処理施設建設基金寄附金				10
・ 清掃運営事務				
文具類等消耗品費				369
全国都市清掃会議負担金				116
日本環境衛生センター負担金				50
神奈川県都市清掃行政協議会負担金				26
・ 清掃一般運営事業				
生活環境整備審議会委員報酬 8人				328
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬				0
事務補助嘱託員報酬				0
廃棄物減量化等推進員謝礼 205人				1,940
生活環境整備審議会委員費用弁償				0
事務補助嘱託員費用弁償				0
一般廃棄物処理手数料等賦課徴収用印刷物印刷製本費				215
軽貨物自動車(更新1台)				940



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)  (仮称)バイオ・リサイクルセンターの建設を初めとする、本市の一般廃棄物処理施設の再編整備のあり方についての検討が求められていた。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)  新たな委員構成による生活環境整備審議会を開催し、バイオマスや最新の焼却処理施設についてご意見をいただくとともに、本市の一般廃棄物処理施設の再編整備のあり方について諮問を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)  本市の一般廃棄物処理施設の再編整備に向けて、生活環境整備審議会の審議を踏まえ、その方向性を決定すること。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)  安定的な処理体制のもとで、本市の廃棄物行政の基本理念である「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を図るため、一般廃棄物処理施設の再編整備については、広域化協議の状況を鑑み、引き続き生活環境整備審議会の意見を踏まえ、施設ごとにその具体的な検討を進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	本市の廃棄物処理施設の再編については、循環型社会の形成に寄与するとともに安定的な処理体制が確立できるよう考えていくことが必要であり、生活環境整備審議会等の意見を踏まえ、その方向性を決定していく。				
担当課長氏名:		環境施設課長 柿崎 雅之			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	焼却施設をはじめ本市の一般廃棄物処理施設の再編整備について、逗子市との広域化の協議状況を踏まえ、生活環境整備審議会等の意見を聴いて、方向性を決定していきます。				
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		